

恐竜絵本作家 黒川 みつひろ



1954年大阪市に生まれる。大阪市立美術研究所で絵を学ぶ。1988年カナダ・アルバータ州で恐竜化石を発掘。恐竜、古生物について造詣が深く、恐竜絵本作家として活躍中。原画展、講演、ワークショップなども行う。主な作品は「新・恐竜たち」「恐竜の谷」(こぐま社)「トリケラトプスシリーズ」「恐竜あいうえお」(小峰書店)など多数。2023年「トリケラトプスシリーズ」が世界累積販売数460万部を超える。

(一社) 日本児童出版美術家連盟会員



主な作品

- 『恐竜トリケラトプス』シリーズ (1992年～、小峰書店)
- 『恐竜の大陸』(1-7巻) (1992年～、小峰書店)
- 『恐竜図解新辞典』 (1999年、小峰書店)
- 『たたかう恐竜たち』(1-20巻) (2000年～、小峰書店)
- 『恐竜の谷 小さな恐竜親子の物語』 (2005年、こぐま社)
- 『絵巻えほん 新・恐竜たち』 (2008年、こぐま社)
- 『けがをした恐竜化石が語る ティラノサウルスの話』 (2010年、こぐま社)
- 『恐竜だいすごろく』 (2010年、小峰書店)
- 『恐竜だいぼうけん』(1-15巻) (2012年～、小峰書店)
- 『勇者のツノ 化石が語る トリケラトプスの話』 (2013年、こぐま社)

皆さん、こんにちは! 黒川みつひろです。私は子どものころから模型作りが好きでした。戦車、軍艦など作っていた記憶があります。「この部品は何か?なぜこんな形をしているのかな?」いろいろな想像力を膨らませながら真剣に組み立てました。年月が経ち、大人になり、イラストレーターを経て恐竜絵本作家になりました。でも昔模型作りをしていたことが、集中力と創造性を養ったのか、今の「恐竜研究」と「作品づくり」にとっても役立っていると感じています。皆さんもぜひ模型作りを通して、いろんなことを感じていただければうれしいです。



小学校3年生頃の黒川先生